

2. 株式取得により期待される効果

コンコルド社が当社グループ入りすることで、次のような具体的な効果が期待できると判断しております。

(1) 医療機器向けの製品ラインナップ

コンコルド社の売上の約3割は医療機器向け製品です。これは新たに当社グループの製品ラインナップに加わるものであります。コンコルド社がグループ入りすることで、医療機器向け市場への足がかりを得ることができます。

(2) 顧客基盤の拡大

当社グループとコンコルド社は顧客の重複が少なく、それぞれの顧客基盤を共有し、当社グループのグローバルな販売ネットワークを最大限活用することにより、一層の販路の拡大が見込めます。

(3) 相乗効果の実現

当社グループ、特に昨年グループ入りしたエイワ社とコンコルド社は、家電や産業機器向け製品では近接した製品を製造しており、相互の技術を活用することで、より顧客に求められる新製品の開発を加速することができると思っております。また、コンコルド社がスミダの中期経営計画“Triple Ex”の重要施策として掲げている製造シルクロード構想に合致するベトナムに製造拠点を有していることから、当社のコアコンピタンスである低コスト製造体制をグループとして更に強化するといった相乗効果も見込めます。

3. 株式会社コンコルド電子工業の概要

(1)	会社名	株式会社コンコルド電子工業
(2)	代表者	代表取締役社長 太田 敦
(3)	所在地	長野県佐久市協和 7334-1
(4)	設立年月	1970年3月
(5)	主な事業内容	高周波トランス、リアクトル、その他各種コイルの開発・製造・販売 内訳 家電向け売上 : 約4割 産業機器向け売上 : 約3割 医療機器向け売上 : 約3割 (2008年7月期実績)
(6)	主な事業所	国内 : 長野(製造・販売) 海外 : ベトナム(製造)
(7)	決算期	7月31日
(8)	従業員数	約120名
(9)	連結売上高	2,260百万円 (2008年7月期実績)
(10)	資本金	54百万円
(11)	上場の有無	未上場

4. 業績に与える影響

今後は、最終合意(株式譲渡契約締結)に向けてコンコルド社と協議を進めて参ります。最終合意に至った場合には、コンコルド社は当社の連結子会社になります。ただし、現時点では株式取得の条件、日程などが未確定であることから、当社の2009年12月期の業績に与える影響は判明次第公表いたします。

以上